

大洗高生ら被災者を元気に

マーチングバンド部 宮城で演奏会

東日本大震災の被災地に
元気を届けようと、県立大
洗高校マーチングバンド部
「BLUE HAWKS」

は5、6日の両日、宮城県
気仙沼市と南三陸町で演奏

会を開いた。無料の演奏会
「こころのボランティア」
の一環として行われた。

同校は2013年3月か
ら、演奏を通じて被災者を
励まそうと実施。震災直後

の演奏では、部員はじめ、
同校の生徒が仮設住宅に出
向いて郵便ポストに演奏会
の案内状を入れ、高齢者を
迎えに行くなどの温かな触
れ合いを続けてきた。

15回目となった今回は、
同部1〜3年生70人が参加
した。1泊2日の日程で南
三陸さんさん商店街（南
三陸町）や、特別養護老人
ホーム「春園苑」（気仙沼

市）など4カ所訪ね、5公
演を行った。高齢者がなじ
み深いテレビ時代劇「水戸
黄門」のテーマ曲や、ディ
ズニーメドレーなど約20曲
の美しいハーモニーを奏
でた。また、復興支援ソ
ングの「花は咲く」を合唱し
た。

チューバを担当する1
年、神谷優介さん（15）は「曲
を聴いてくれた人が感動し
てくれた。震災でどれだけ
心が傷ついたかが分かっ
た」と話した。部長の吉川
彩音さん（18）は「直前まで
皆で練習に熱が入ってい
た。後輩にもできるだけ続
けてもらいたい」と話した。
同部の監督、有国浄光さ
ん（73）は「地元の人は待つ
ていてくれる。今後も可能
な限り続けたい」と先を見
据えた。（鈴木聡美）



●南三陸さんさん商店街で演奏を披露する部員たち
●宮城県南三陸町志津川
●特別養護老人ホーム「春園苑」を利用する高齢者から花束を贈られた部員（右）
●宮城県気仙沼市本吉町（大洗高校提供）